

いしづち

愛媛労災病院広報誌第22巻第3号

（通巻第101号）

2022年7月4日発行

発行人：院長 木戸健司

理念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のよう
に宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定
やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



看護週間行事

～正面玄関横のロビーでパネル展示を行いました～



看護週間行事	1	●	新人看護師が入職しました	3
泌尿器科外来について	2	●	産婦人科外来より	3
食事のお話	2	●	新規採用医師の紹介、新規採用・転任者集合写真	4

泌尿器科外来について

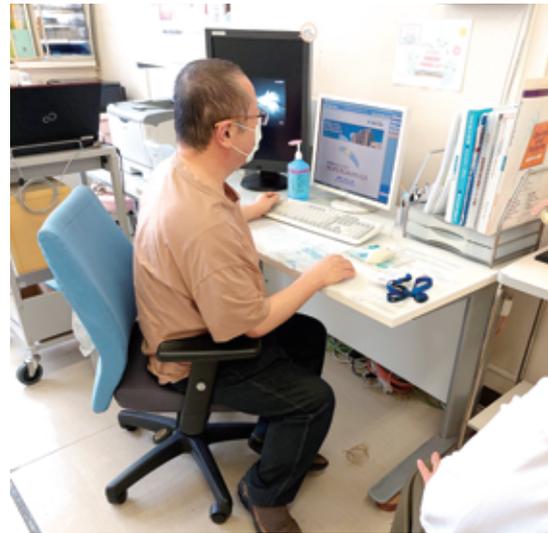
泌尿器科部長 越智達正

泌尿器科です。尿が近い、尿が漏れる、尿が出にくい等の症状があれば、いつでも外来にお越しください。また、前立腺癌、膀胱癌、胃癌など悪性疾患の相談、検査、治療も行っています。愛媛大学と協力し、高度な医療に繋げる体制もあります。

専門外来としては、女性の尿失禁、小児の泌尿器科疾患について、第2、第3金曜日に愛媛大学より西村先生が外来を行っております。見た目尿が赤い（血尿）が出た場合、癌の可能性もあるので早めの受診をお勧めします。受診、相談しづらい疾患もおいでください。

当科では、正確に、迅速に診断治療することを心がけています。受付、スタッフ等によって頂ければ症状に合わせて、検査、処置いたします。泌尿器科以外でも、癌末期等の緩和治療も行っていますので

お気軽にご来院してください。本人が来られない場合はご家族の方でも問題ありません。地域に密着した医療を目指して、スタッフ共々日々研鑽しております。よろしくお願いいたします。



食事のお話：果物の一日の適量をご存じですか？

主任管理栄養士 大西邦枝

栄養管理部では、医師の指示のもと年間2000件程度の栄養食事指導を行っております。数多くの患者さんにお話をお伺いしていると、愛媛県はおいしい果物をたくさん生産している環境ということもあり、果物をお好きな方がとても多くいらっしゃる印象を受けます。

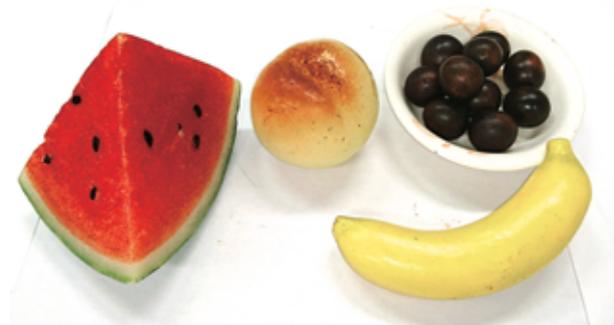
果物は、ビタミン・ミネラル・食物繊維などが豊富に含まれている食品ではありますが、糖分も多く含まれているため、食べすぎると脂質代謝異常や高血糖・肥満などへつながる可能性があります。【果物の1日適量は80キロカロリー程度】であり、各種目安量は後述しておりますので、是非確認をしてみてください。（カリウム制限をされている方など、病態によってはもっと少なく設定される場合もあります）

特に気温が高くなるこの時期は、冷やした果物を水分補給代わりに食べすぎてしまったり、食事を食べずに果物ばかり食べる生活が続いたりして、夏バ

テや体調不良に陥る方が少なくありません。果物の適量を知り、おいしくかつバランスの良い健康的な食生活を目指しましょう。

【果物80キロカロリーの目安量（可食部の重量g）】

- ・スイカ：下画像程度（200g）＝80kcal
- ・ブドウ（巨峰等）：10～12粒（150g）＝80kcal
- ・キウイフルーツ：中1個半（150g）＝80kcal
- ・りんご：中1/2個（150g）＝80kcal
- ・バナナ：中1本（100g）＝80kcal
- ・みかん：中2個（200g）＝80kcal



新人看護師が入職しました

新人教育担当看護師長 平山由実

2022年4月、看護部は9名の新人看護師を迎えました。新人たちはコロナ禍で、十分な実習ができず、不安を抱えながら入職しました。

新人教育担当者は、バイタルサイン測定や採血・清拭・排泄介助などの基礎看護技術を2日間かけて看護手順と照らし合わせながらデモンストレーションを行いました。

新人看護師はその研修を受け、患者役と看護師役に分かれ、技術を確認し、実践に向けて学びを深めました。その後配属された病棟で、専門職としての看護実践を行っています。

そして今、入職後3か月が経過しました。新人看護師は、みんな笑顔で仕事をしています。これから休日業務や夜勤勤務に向けて、先輩看護師と共に頑張ります。



産婦人科外来より：産後ケアと母乳外来がリニューアルしてスタートしました

外来師長 荒井恵子

当院では、新居浜市の委託を受けて、2018年9月より産後ケア事業を実施していましたが、産科病棟の休床に伴い宿泊型産後ケアを中止しました。そこで、外来助産師による、日帰り型と訪問型の産後ケアを新たに実施することになりました。

核家族化が進んでいることに加え、現在のコロナ禍において、子育ての孤立感や不安感を訴えるお母さんは少なくありません。産後の不安定な時期に助産師が関わり心身のケアや育児サポートを行うことで、お母さんが安心して育児ができるような環境を提供したいと考えています。また、外来助産師による母乳外来も行って授乳期間中の乳房トラブルや断乳、卒乳などの相談に応じています。

当院の産婦人科外来では、良質で安全な助産ケアが自律して提供できることを認証されたアドバンス助産師がいつでも対応しておりますので、どうぞご利用ください。



新規採用医師の紹介



池田 裕 暁

(いけだ ひろあき)

- 1) 診療科：整形外科
- 2) 経験年数（医師免許取得後）：11年
- 3) 趣味：野球、カラオケ
- 4) コメント：4月から勤務させていただくことになりました。整形外科医として、患者さんの生活の質を改善できるように努めたいと思います。よろしくお願いいたします。



鷺見 昌 克

(すみ まさかつ)

- 1) 診療科：整形外科
- 2) 経験年数（医師免許取得後）：11年
- 3) 趣味：スポーツ観戦
- 4) コメント：今年地元である新居浜に戻ってまいりました。急性期から慢性期まで様々な運動器疾患を診させていただきます。よろしくお願いいたします。

新規採用・転任者集合写真



4月1日より、院長の交代及び病床数の変更、メンバーの追加等々新たな診療体制が始まりました。地域密着型病院として患者さんに寄り添った診療を目指してまいりますので、今後とも愛媛労災病院を宜しくお願い致します。

広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：篠原放射線科部長、大山看護副部長、日野看護師長、秋月看護師長補佐、和田看護師長補佐、大成主任薬剤師、辻理学療法士、高原管理栄養士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、河西総務課員、丸山医事課員